

平成22年8月期 第2四半期決算短信

平成22年4月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 創通

コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 建彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 出原 隆史

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

TEL 03-3248-0311

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第2四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第2四半期	6,475	△7.2	722	△27.1	760	△24.7	462	22.4
21年8月期第2四半期	6,977	—	991	—	1,009	—	377	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第2四半期	110.55	—
21年8月期第2四半期	8,900.04	—

平成21年6月1日付けで普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年8月期第2四半期	14,262	—	11,677	80.5	—	—	2,744.48	
21年8月期	15,331	—	11,499	73.8	—	—	2,704.28	

(参考) 自己資本 22年8月期第2四半期 11,486百万円 21年8月期 11,318百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	—	—	60.00	60.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年8月期期末配当金の内訳 普通配当50円00銭、ガンダム30周年記念配当10円00銭

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	△9.5	1,480	△4.6	1,500	△4.8	850	5.4	203.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第2四半期	4,300,000株	21年8月期	4,300,000株
② 期末自己株式数	22年8月期第2四半期	114,700株	21年8月期	114,700株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第2四半期	4,185,300株	21年8月期第2四半期	42,464株

平成21年6月1日付けで普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外の政府主導による景気刺激策や在庫調整に伴い一部に景気持ち直しの兆しは見られるものの自律性に乏しく、全体としては設備投資の減速、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、依然として先行き不透明のまま推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサー開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,475百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益722百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益760百万円（前年同期比24.7%減）、四半期純利益462百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

（メディア事業）

メディア事業におきましては、「機動戦士ガンダム(First GUNDAM)」30周年に連動したイベント及び販促キャンペーンを展開し、広告・プロモーションの収入は前年同期を大幅に上回る結果となり、メディア事業の売上を牽引いたしました。

また、中核事業のアニメーション番組のプロデュースについては、「あにやまる探偵キルミンずう」等新番組の他、長寿番組の「それいけ！アンパンマン」等のプロデュース・取扱いを予定通り行ってまいりましたが、スポンサーのコンテンツ投資意欲の低減や広告予算の縮小により、収益性が悪化しております。

就職情報事業を行う子会社・株式会社ジェイ・ブロードについては、新卒採用の大幅な減少により、前年同期に比べ採用広告収入が大きく減少するとともに、営業利益を押し下げる主な要因となっております。

この結果、メディア事業の売上高は4,823百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益148百万円（前年同期比45.3%減）となりました。

（ライツ事業）

ライツ事業におきましては、「ひぐらしのなく頃に」シリーズ、「咲-Saki-」等の商品化による著作権収入は好調に推移いたしました。主力の「ガンダム」シリーズについてゲーム等の大型案件がなく、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、ライツ事業の売上高は1,159百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益570百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

（スポーツ事業）

スポーツ事業におきましては、読売巨人軍の日本シリーズ優勝の影響により球団グッズの売上高、優勝イベントの協賛、日本シリーズにおける広告収入が伸長し、また新規の球場看板広告の受注により、前年同期に比べ売上高・営業利益ともに大きく増加いたしました。

この結果、スポーツ事業の売上高は493百万円（前年同期比119.1%増）、営業利益48百万円（前年同期比336.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,069百万円減少し、14,262百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加865百万円及び売上債権の減少1,617百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,247百万円減少し、2,585百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少1,324百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、11,677百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加211百万円等であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ865百万円増加し、9,063百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は993百万円（前年同期は362百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益799百万円、売上債権の減少額1,617百万円、仕入債務の減少額1,324百万円及び法人税等の支払額129百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は145百万円（前年同期は65百万円の使用）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入160百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は273百万円（前年同期は408百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額251百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

下半期における当社グループをとりまく事業環境は、引き続き厳しいものと予想されます。

この様な状況のなか、メディア事業においては、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースに注力し、4月より「SDガンダム三国伝 Brave Battle Warriors」「ジュエルペット～ていんくる」等の新番組がスタートいたします。しかし、スポンサーのコンテンツ投資の減少から製作委員会組成が困難となるケースが増えており、当社においても制作出資については期初予定の10作品から6作品に、取扱いを含めたプロデュース作品数は期初予定の15作品から10作品に減少する予定です。また、子会社・株式会社ジェイ・ブロードに関しては、2011年新卒採用に関する需要の縮小は予想以上に深刻なため、期初の売上計画を下回る可能性があり、事業の選択と集中が急務となっております。上述の通り、売上高減少のリスク要因がある一方、広告・プロモーションの分野では、「ガンプラ30周年プロジェクト」がスタートする等、イベントや関連商品の販促キャンペーンにより、期初の計画を上回ることを予想しております。

ライツ事業、スポーツ事業については、概ね期初の計画通り推移するものと考えております。

この様な方針・計画のもと、当期の見通しといたしまして、連結売上高は14,600百万円、営業利益1,480百万円、経常利益1,500百万円、当期純利益850百万円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,063,515	8,198,039
受取手形及び売掛金	1,701,325	3,319,228
有価証券	199,825	187,969
商品	313	381
仕掛品	19,068	18,145
貯蔵品	4,535	6,535
繰延税金資産	62,290	88,525
その他	121,025	395,229
貸倒引当金	△66,478	△127,056
流動資産合計	11,105,422	12,086,998
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	58,794	61,119
車両運搬具（純額）	2,514	3,177
工具、器具及び備品（純額）	16,775	16,917
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	400,796	403,926
無形固定資産	86,588	93,198
投資その他の資産		
投資有価証券	2,053,033	2,155,062
繰延税金資産	308,983	280,774
その他	308,723	311,975
貸倒引当金	△1,180	—
投資その他の資産合計	2,669,559	2,747,812
固定資産合計	3,156,944	3,244,937
資産合計	14,262,367	15,331,935

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,641,966	2,966,720
短期借入金	—	20,000
未払法人税等	304,105	126,427
賞与引当金	26,802	35,371
その他	94,640	164,994
流動負債合計	2,067,514	3,313,513
固定負債		
退職給付引当金	80,333	78,028
その他	437,515	441,282
固定負債合計	517,849	519,310
負債合計	2,585,364	3,832,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	391,240
利益剰余金	11,128,481	10,916,919
自己株式	△262,407	△262,407
株主資本合計	11,672,064	11,460,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△185,608	△142,291
評価・換算差額等合計	△185,608	△142,291
少数株主持分	190,547	180,900
純資産合計	11,677,003	11,499,110
負債純資産合計	14,262,367	15,331,935

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
売上高	6,977,430	6,475,768
売上原価	5,405,721	5,270,319
売上総利益	1,571,709	1,205,449
販売費及び一般管理費	580,174	482,547
営業利益	991,534	722,902
営業外収益		
受取利息	1,578	2,150
受取配当金	11,514	17,612
持分法による投資利益	2,473	9,534
匿名組合投資利益	2,011	3,766
投資事業組合運用益	7,471	4,300
その他	2,724	4,031
営業外収益合計	27,773	41,395
営業外費用		
支払利息	666	97
支払手数料	5,420	—
上場関連費用	3,872	3,944
その他	9	3
営業外費用合計	9,970	4,045
経常利益	1,009,337	760,252
特別利益		
投資有価証券売却益	140	—
貸倒引当金戻入額	—	59,397
特別利益合計	140	59,397
特別損失		
固定資産除却損	16	176
投資有価証券売却損	—	12,880
投資有価証券評価損	241,055	7,140
会員権評価損	2,886	—
特別損失合計	243,958	20,196
税金等調整前四半期純利益	765,519	799,452
法人税、住民税及び事業税	408,169	304,455
法人税等調整額	△49,947	19,606
法人税等合計	358,221	324,062
少数株主利益	29,366	12,710
四半期純利益	377,931	462,680

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	765,519	799,452
減価償却費	21,342	21,108
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,377	△59,397
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,099	△8,569
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,559	2,305
受取利息及び受取配当金	△13,093	△19,763
支払利息	666	97
持分法による投資損益 (△は益)	△2,473	△9,534
投資有価証券評価損益 (△は益)	241,055	7,140
売上債権の増減額 (△は増加)	44,223	1,617,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,063	1,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	△208,172	△1,324,753
その他	△91	76,256
小計	857,877	1,103,390
利息及び配当金の受取額	13,184	19,185
利息の支払額	△602	△73
法人税等の支払額	△507,887	△129,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,572	993,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,885	—
無形固定資産の取得による支出	△15,690	△15,459
投資有価証券の取得による支出	△100,600	△5,400
投資有価証券の売却による収入	45,800	160,747
その他	7,005	6,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,369	145,894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,165	△20,000
自己株式の取得による支出	△115,675	—
配当金の支払額	△256,680	△251,106
少数株主への配当金の支払額	△6,383	△2,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,904	△273,659
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,701	865,476
現金及び現金同等物の期首残高	7,897,303	8,198,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,785,602	9,063,515

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,414,352	1,338,030	225,047	6,977,430	—	6,977,430
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,414,352	1,338,030	225,047	6,977,430	—	6,977,430
営業利益	271,520	755,223	11,080	1,037,824	△46,290	991,534

当第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

	メディア事業 (千円)	ライツ事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,823,637	1,159,092	493,039	6,475,768	—	6,475,768
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,823,637	1,159,092	493,039	6,475,768	—	6,475,768
営業利益	148,544	570,714	48,376	767,635	△44,733	722,902

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な品目

- (1) メディア事業……テレビ番組提供・テレビ広告・アニメーション作品制作・採用広告
- (2) ライツ事業……商品化権・ビデオ化権・番組販売権
- (3) スポーツ事業……球団グッズ販売・球団スポンサード・球場看板広告

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)及び当第2四半期連結累計期間
(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)及び当第2四半期連結累計期間
(自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

該当事項はありません。

② 受注実績

該当事項はありません。

③ 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	前年同四半期比 (%)
スポーツ事業 (千円)	41,159	119.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	前年同四半期比 (%)
メディア事業 (千円)	4,823,637	89.1
ライツ事業 (千円)	1,159,092	86.6
スポーツ事業 (千円)	493,039	219.1
合計 (千円)	6,475,768	92.8

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社バンダイ	853,765	12.2	652,329	10.1
株式会社バンダイ ナムコゲームス	1,075,186	15.4	—	—

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。